

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

幸せと恩返し

南相馬市立原町第三中学校 二年 齊藤 煌希

僕は七月、八月に新型コロナウイルスのワクチン接種を完了した。夜には高熱を出し、部活動に行くか迷うくらい体調を崩していた。ある時、僕は改めてワクチンについて知っておこうと思い、送られてきた書類を眺めていた。そして、ある一文に目が留まった。

「費用負担はありません」

この時、僕は思った。では、何によってワクチン接種は成り立っているのかと。

早速、ネットで調べてみると、たくさんの税が出てきた。僕達が普段払っている消費税、固定資産税、自動車税、さらには、地方揮発油税、航空機燃料税、電源開発促進税など、自分が聞き慣れない種類の税まで出てきた。

さらに調べてみると、ワクチンは国税によって成り立っていることが分かった。国民から集めた税金を使ってワクチンの供給を行っているのも知ることができた。

また、医療費も税金の類となっている。医療費は、十五歳までなら全くかからないものとなっており、社会で働く人たちが稼いだ税によって医療は支えられているのである。

そして、児童扶養手当。これも医療費とほぼ同じで、児童が安心して暮らせるようにする補助制度である。これも税金からまかなわれており、皆が普段払っている税が、ここで生きづいているのだ。

最近の世の中では、消費税が十パーセントに増加したこと、宮島訪問税が新設されたことなど、税に対して悪いニュースが広がっている。しかし、税があるお陰で、ワクチンを打つ事ができ、医療の補助制度、さらには、僕たちの生活を支えてくれている。そして、国民が税金を払うことによって、違う誰かを支え、助けることができる。僕はまだ中学生で、税金を払うことよりも、税金によって助かっている方が多い。だ

からこそ、今、幸福な人生を歩めていることに感謝すべきだと思う。そして、僕が社会人となった時には、今までの恩返しをするとともに、税金をきちんと払って、苦しい、辛い思いをしている人を助けたいと思っている。皆で力を合わせることができれば、日本だけではなく世界の人々を救うことができる。そのためにもまずは、進路の実現のため学習に励み、社会に貢献できる仕事に就き、今までの社会貢献という形で返していきたいと思っている。

そして、まだまだある人生の中で、本当の幸せを見つけ、大切に過ごしていきたいと思う。コロナにも運命にも屈せずに、素晴らしい日々を送れることを僕は願う。